

イタリア包装関連企業の 持続可能な包装への対応状況

2026年3月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

調査部

ミラノ事務所

【免責条項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

目次

I.	調査対象企業・包装用途 対応表	2
II.	環境関連認証一覧	3
III.	略称一覧	4
IV.	企業事例	5
1.	アエンメビ (AMB)	5
2.	カップ・プラスト (Capp Plast)	6
3.	カルトンパック (Carton Pack)	7
4.	カソーネ (Casone)	8
5.	コスター・テクノロジー・スペチャーリ (Coster Tecnologie Speciali)	9
6.	ディ・マウロ・オフィチーナ・グラフィケ (Di Mauro Officine Grafiche)	10
7.	フロ (Flo)	12
8.	ジフロール (Giflor)	13
9.	グアラパック (Guala Pack)	14
10.	イリップ (ILIP)	16
11.	インドウストゥリア・テルモプラスティカ・パヴェーゼ (Industria Termoplastica Pavese)	17
12.	イシ・プラスト (ISI Plast)	18
13.	メタルキミカ (Metalchimica)	19
14.	ポリーケグ (Polykeg)	20
15.	ポップラスト (Poplast)	21
16.	プントパック (Punto Pack)	22
17.	ロトリフィーチョ・ベルガマスコ (Rotolificio Bergamasco)	24
18.	サッキタル (Sacchital)	25
19.	セレーネ (Selene)	26
20.	セリオプラスト・グローバルサービス (Serioplast Global Services)	27
21.	ティチノプラスト (Ticinoplast)	28
22.	ヴァルマティック (Valmatic)	29

はじめに

EU では域内の包装廃棄物の削減等を目的に包装・包装廃棄物規則（PPWR）が 2025 年 2 月に施行、2026 年 8 月より段階的に適用が開始される予定となっている。規則では包装に関する持続可能性要件やラベリング要件などが定められており、EU に上市を行う日本企業・日系企業も対応が求められる。

本調査では包装関連の産業が集積するイタリアにおいて、包装材の製造業者を中心とした、包装関連企業の持続可能性に配慮した包装の上市、開発状況についてまとめた。

2026 年 3 月
日本貿易振興機構（ジェトロ）
調査部欧州課
ミラノ事務所

I. 調査対象企業・包装用途 対応表

会社名	包装の用途							
	食品・飲料	ホームケア	医薬品・ヘルスケア	パーソナルケア	産業	農業・畜産	ロジスティクス	その他
1 アエンメビ AMB	●							●
2 カップ・プラスト Capp Plast	●	●	●	●	●	●	●	●
3 カルトンパック Carton Pack	●						●	
4 カソーネ Casone	●		●		●			●
5 コスター・テクノロジー・スペチャーリ Coster Tecnologie Speciali	●	●	●	●				
6 ディ・マウロ・オフィチーナ・グラフィケ Di Mauro Officine Grafiche	●	●	●	●				
7 フロ Flo	●							
8 ジフロール Giflor	●		●	●				
9 グアラパック Guala Pack	●	●	●	●				
10 イリップ ILIP	●							
11 インドゥストゥリア・テルモプラスティカ・パヴェーゼ Industria Termoplastica Pavese	●	●		●	●		●	●
12 イシ・プラスト ISI Plast	●		●		●			●
13 メタルキミカ Metalchimica	●	●	●	●	●	●		●
14 ポリーケグ Polykeg	●							
15 ポップラスト Poplast	●		●	●	●			
16 プントパック Punto Pack	●		●	●	●			
17 ロトリフィーチョ・ベルガマスコ Rotolificio Bergamasco	●	●		●				●
18 サッキタル Sacchital	●	●	●	●				●
19 セレーネ Selene	●		●		●	●	●	●
20 セリオプラスト・グローバルサービス Serioplast Global Services	●	●	●	●				●
21 ティチノプラスト Ticinoplast	●	●	●	●	●			●
22 ヴァルマティック Valmatic	●		●	●				●

II. 環境関連認証一覧

認証名	概略
EcoVadis	企業のサステナビリティパフォーマンス評価を提供する国際的な機関。評価はメダル(プラチナ、ゴールド、シルバーなど)やバッジで示される。
B Corp	米非営利団体 B Lab による環境や社会に配慮した公益性の高い企業に与えられる国際認証。
RecyClass	プラスチック循環性を推進する非営利の業界横断的イニシアチブ。包装材のリサイクル可能性評価、再生材のトレーサビリティや含有率などを認証する。
ISCC PLUS	あらゆる持続可能な原材料を認証する国際的なプログラム ISCC ¹ のうち、バイオマス、リサイクル材などの持続可能な原料源のトレーサビリティを証明する認証
BRC-GS Packaging Materials	英国の小売協会 BRC ² が策定した認証のうち、包装分野向けの製品の安全性と品質を管理するための国際的な認証。
OK Compost	欧州の認証機関 TÜV AUSTRIA が発行する、製品の堆肥化(Compost)・生分解性を証明する国際的な認証。産業用(Industrial)と家庭用(Home)などの区分がある。
FSC	森林管理協議会 ³ が運営する、持続可能に管理された森林由来の木材や紙製品を対象とする国際認証。
PEFC	世界各国の認証制度との相互承認も行う国際認証組織「森林認証制度相互承認プログラム ⁴ 」による国際森林認証。
PSV	イタリアのリサイクル促進機関 IPPR ⁵ が認証する再生プラスチック素材および製品向けの環境ラベルで、原料の由来により6種類に分類される。セカンドライフプラスチック(イタリア語 Plastica Seconda Vita)の略。
Aticelca 501	イタリアの製紙関連者や団体などからなる組織アティチエルカが策定したセルロース系材料および製品の再生可能性レベルを A+・A・B・C の4段階で評価する認証。
Cyclos-HTP	ドイツの研究機関。プラスチック包装のリサイクル適性を評価し認証する。材料構成や着色、添加物などを基に段階評価を行う。

1 International Sustainability & Carbon Certification

2 British Retail Consortium

3 Forest Stewardship Council

4 Programme for the Endorsement of Forest Certification Scheme

5 Istituto per la Promozione delle Plastiche da Riciclo

III. 略称一覧

略称	用語・解説
3R	Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)
BOPE	二軸延伸ポリエチレン(Biaxially Oriented Polyethylene)の略。 フィルムを縦横に引き延ばすことで、強度や透明性など優れた性能をもつ。
EVOH	エチレンビニルアルコール共重合樹脂
FFS	包む、充填、密封(Form, Fill & Seal)を1台で行う自動製袋充填機
HDPE	高密度ポリエチレン
LDPE	低密度ポリエチレン
PA	ポリアミド
PCR	消費後の一般廃棄物のリサイクル(Post Consumer Recycled)の略
PE	ポリエチレン
PET	ポリエチレンテレフタレート
PETG	ポリエチレンテレフタレートグリコール
PIR	産業廃棄物のリサイクル(Post industrial Recycled)の略
PLA	ポリ乳酸、トウモロコシやサトウキビなどの植物由来の原料から作られるバイオマスプラスチック
POF	ポリオレフィン系フィルム
POM	ポリアセタール またはポリオキシメチレン
PP	ポリプロピレン
PS	ポリスチレン
PVC	ポリ塩化ビニル

IV. 企業事例

1. アエンメビ (AMB)

(1) 会社概要等

項目	企業プロフィール
会社名	アエンメビ
英文会社名	AMB S.p.A.
ウェブサイト	https://www.ambpackaging.com/
設立年	1969 年
本社所在地	Via San Martino 28 - 33038 San Daniele del Friuli (UD)
従業員数	241 名 (2025 年) ^(注)
売上高	1 億 2,700 万ユーロ (2024 年)
包装向け製品の用途	<input checked="" type="checkbox"/> 食品・飲料 <input type="checkbox"/> 医薬品・ヘルスケア <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> ロジスティクス <input type="checkbox"/> ホームケア <input type="checkbox"/> パーソナルケア <input type="checkbox"/> 農業・畜産 <input checked="" type="checkbox"/> その他
主な事業内容	包装用硬質および軟質フィルムの製造とその加工、印刷、ラミネート加工。特に高バリア性食品保護包装ソリューションを強みとする。イタリア、英国、ドイツなどに 4 カ所の生産拠点と 8 カ所の倉庫を持ち、世界 50 カ国に製品を提供する。

(出所) アエンメビ公式ウェブサイト (表内に記載) および『SUSTAINABILITY REPORT 2024』

従業員数および売上高はイタリア商工会議所データを参照。

(注) アエンメビ公式ウェブサイトに 2026 年 1 月 31 日時点掲載のグループ情報では約 430 名。

(2) 持続可能性に対する取り組み

AMB は規制の導入や消費者意識の高まりを見据え、近年、持続可能な包装への対応に力を入れている。中でも、使用済みの食品用 PET トレイを食品包装用のフィルムやトレイへと再生する循環型リサイクル製品 AMB TrayRevive は、食品接触適合性をもつ PCR PET を使用しながら、外観品質や機械特性、熱成形性を損なうことなく循環利用を可能としている点が特長だ。単一素材 PET の使用により、リサイクル可能設計 (Design for Recycling) を実現するとともに、PCR 材含有率 95% の製品である。2024 年には、2 億 4,600 万枚以上のトレイを再生利用の実績を記録している。再生材の含有率に関しては EN 15343⁶⁾に準拠した独自の認証を採用している。

2024 年には、サステナビリティを目的とした 12 件の新規開発プロジェクトを遂行し、リ

6 再生プラスチックのトレーサビリティ、適合性評価および製品内のリサイクル材含有量の計算方法を定めた欧州規格。

サイクル可能設計に基づきながら、機能性を損なうことのない PCR 材を用いた製品が開発された。例えば、高いシール性能を持つ単一素材の PET フィルム SealPET は水産品をはじめとする生鮮品業界における容器への密封のシール性の向上しつつ、加工温度の低下も実現したリサイクル可能なソリューションだ。また、工業用工具などに対応するクラムシェル包装⁷向けの PET フィルムでは、高周波溶着に対応し、安全性や外観品質といった既存の機能性を維持しながら、単層構造により完全リサイクルを可能で、従来の PVC に代わる持続可能な製品だ。最大 50%の再生 PET を配合することで、資源循環への適合性も高い。

2024 年の同社の PCR PET の使用率は、当初の 2025 年までに 30%の目標を前倒しする形で、2024 年には既に 36%に達している。

(3) 持続可能性に関連する認証等の取得

EcoVadis 「シルバーメダル」取得

BRC-GS 包装および包装材料 規格認証取得

2. カップ・プラスト (Capp Plast)

(1) 会社概要等

項目	企業プロフィール
会社名	カップ・プラスト
英文会社名	Capp Plast S.r.l.
ウェブサイト	https://www.capp-plast.com/
設立年	1960 年
本社所在地	Via Galcianese, 107 G - 59100 Prato (PO)
従業員数	172 名 (2026 年)
売上高	6,100 万ユーロ (2024 年)
包装向け製品の用途	<input checked="" type="checkbox"/> 食品・飲料 <input checked="" type="checkbox"/> 医薬品・ヘルスケア <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> ロジスティクス <input checked="" type="checkbox"/> ホームケア <input checked="" type="checkbox"/> パーソナルケア <input checked="" type="checkbox"/> 農業・畜産 <input checked="" type="checkbox"/> その他
主な事業内容	軟包装用フィルム、ボトル、産業向け大型容器・パレットを PE 材にて開発・製造。フランス、ドイツ、オランダ、トルコに拠点を持つ。輸送用容器スマート・ボックスは NATO の認証を得ている。コンシューマー向け包装では大手エシティやソフィデルも顧客とする。

(出所) カップ・プラスト社公式ウェブサイト (表内に記載)

従業員数および売上高はイタリア商工会議所データを参照。

⁷ 本体と蓋が一体化された容器のこと。

(2) 持続可能性に対する取り組み

カップ・プラスチックは、長年にわたり環境に配慮した戦略を継続的に実施してきた。回収性・リサイクル性を高めるため、付属部品を含めた PE による製品設計を推進している。1998 年には PE および PP を回収・再生する先駆的な設備を導入し、第三者による廃棄物を管理する認可も得た。自社のブロー成型設備には生産廃棄物や残渣を粉砕・再粒化する機械を備えており、各部門から回収した廃材は自社内の再生設備で二次原料へと生まれ変わる。加えて、顧客の使用済みの PE 容器の回収、新容器への交換サービスも提供しており、回収された容器は同社の再生プラントで処理される。再生 PE は大容器の付属品などの製造に再利用されており、循環型の資源利用モデルを構築している。

同社の軟包装用製品は、PE および PP を原料とし、主に LDPE そして多層構造を用いたフィルムを使ったロール製品、ウィケットバッグ、各種袋で構成され、食品および衛生用品分野などで使用されている。再生材含有率 10~30%の PSV の認証製品も展開しており、これにはフードグレードのものも含まれる。ボトルに関しては、ホームケア・パーソナルケア・食品・飲料向けのほか、特殊な化学製品向けに HDPE 製品を展開し、再生 HDPE を含む製品へのパーソナライズも可能としている。

また、同社の輸送用大容器は HDPE 製で、頑丈かつモジュール式で繰り返し使用が可能だ。NASA でも使用されているスマート・ボックスは折り畳み式で、不使用時にはコンパクトに収納できる。このように、同社は 3R を実践する企業である。

(3) 持続可能性に関連する認証等の取得

ISCC Plus 認証取得

PSV 認証取得製品あり

3. カルトンパック (Carton Pack)

(1) 会社概要等

項目	企業プロフィール
会社名	カルトンパック
英文会社名	Carton Pack S.p.A.
ウェブサイト	https://cartonpack.com/
設立年	1970 年
本社所在地	Via Adelfia Zl s.c. - 70018 Rutigliano (BA)
従業員数	約 750 名(注)
売上高	1 億 4,200 万ユーロ(2023 年)(注)
包装向け製品の用途	<input checked="" type="checkbox"/> 食品・飲料 <input type="checkbox"/> 医薬品・ヘルスケア <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> ロジスティクス <input type="checkbox"/> ホームケア <input type="checkbox"/> パーソナルケア <input type="checkbox"/> 農業・畜産 <input type="checkbox"/> その他

主な事業内容	青果および食品産業全般向けの熱成型包装、軟包装、カートンやフルーツトレイなど、紙・プラスチックをはじめ独自の複合素材を使用した包括的なカスタマイズ製品を提供。世界 50 カ国以上に顧客を持ち、イタリア国内6カ所、スペイン・ドイツ・英国に各1カ所、合計 9 カ所の生産拠点を有す。
--------	---

(出所) カルトンパック公式ウェブサイト (表内に記載) および『Sustainability Report 2023』

(注) カルトンパックグループ合計、売上高は『Sustainability Report 2023』、従業員数は 2026 年 2 月 13 日時点公式ウェブサイト掲載情報。

(2) 持続可能性に対する取り組み

カルトンパックグループでは、包装する食材の特性分析をはじめ、流通・販売・顧客のニーズに対応して製品開発を行っている。持続可能な素材はリサイクルとその再利用に縛りがあるため設計段階でも意思決定の重要なポイントとなる。グループが利用する素材は、PET・PP・再生PET、そして紙・セルロースパルプなど幅広い。最終的に提供するソリューションに応じて、各材料の特性を組み合わせ、優れた品質性能を実現するのが同グループの手法である。しかしながら、リサイクル性を高めるために、単一ポリマーを適用し、同一素材包装の開発と普及を推進しており、2023 年時点の再生可能素材の利用率は 98%を超えている。

同社はセルロース繊維 (パルプ) とその応用にも注力している。包装分野において繊維系素材は欧州で最もリサイクル率が高く、完全リサイクル可能な包装に適しているためだ。フルーツ・青果用トレイから販売用のパックまでパルプ製品のラインナップは多岐に渡る。その中でも Papersys は、縦・横どちらの包装機でも使えるセルロース素材で、高いシール性能を備える。窓付きフローパック、封筒、ヒートシール (熱圧着) 袋、カートン容器のヒートシール加工など様々な用途に適用が可能だ。2023 年にグループに統合されたシミレス (Smileys⁸) の特許技術で、使用後紙として廃棄可能かつ完全にリサイクル可能な製品である。

(3) 持続可能性に関連する認証等の取得

BRC-GS 包装および包装材料 規格認証取得

FSC 認証取得

OK Compost 取得製品あり

4. カソーネ (Casone)

8 Smileys S.p.A. 公式 HP <https://www.smileys.it/>

(1) 会社概要等

項目	企業プロフィール
会社名	カソーネ
英文会社名	Casone S.p.A.
ウェブサイト	https://www.casone.it/
設立年	1973 年
本社所在地	Via Mainino 12 - 43015 Noceto (PR)
従業員数	123 名 (2026 年)
売上高	5,500 万ユーロ (2024 年)
包装向け製品の用途	<input checked="" type="checkbox"/> 食品・飲料 <input checked="" type="checkbox"/> 医薬品・ヘルスケア <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> ロジスティクス <input type="checkbox"/> ホームケア <input type="checkbox"/> パーソナルケア <input type="checkbox"/> 農業・畜産 <input checked="" type="checkbox"/> その他
主な事業内容	主に化学製品・医薬品、食品、そして医療廃棄物向けの PP 製バケツタイプの容器の設計および製造。

(出所) カソーネ公式ウェブサイト (表内に記載)

従業員数および売上高はイタリア商工会議所データを参照。

(2) 持続可能性に対する取り組み

カソーネのプラスチック容器および蓋は、化学製品・食品・医薬品そして医療廃棄物などの収納するために設計されている。円筒形・角形・楕円形など 100 種類以上の形状の容器を用途に応じて展開しており、製品のカスタマイズも可能だ。食品との接触にも適した高品質 PP を使用しており、使用後は 100%リサイクルが可能である。環境持続可能性の観点から、PIR 材・PCR 材より再生された二次原料を使用した製品も提供しており、含有量は最高で 95%に達し、PSV の認証を得ている。

(3) 持続可能性に関連する認証等の取得

PSV 認証取得製品あり

5. コスター・テクノロジエ・スペチャーリ (Coster Technologie Speciali)

(1) 会社概要等

項目	企業プロフィール
会社名	コスター・テクノロジエ・スペチャーリ
英文会社名	Coster Technologie Speciali S.p.A.
ウェブサイト	https://www.coster.com/
設立年	1963 年
本社所在地	Viale Trento, 2 - 38050 Calceranica al Lago (TN)
従業員数	1,179 名 (2024 年) (注)
売上高	2 億 6,900 万ユーロ (2024 年) (注)

包装向け製品の用途	<input checked="" type="checkbox"/> 食品・飲料 <input checked="" type="checkbox"/> 医薬品・ヘルスケア “産業 “ロジスティクス <input checked="" type="checkbox"/> ホームケア <input checked="" type="checkbox"/> パーソナルケア “農業・畜産 “その他
主な事業内容	ディスペンシング容器部品（バルブ、スプレーキャップ、アクチュエーター、スプレーポンプ、ディスペンサーなど）ならびに充填機の双方を手がける世界でも稀なグループ。欧州を中心に、南北米、アジアの11カ国で事業を展開。

（出所） コスターグループ公式ウェブサイト（表内に記載） および『Sustainability report 2024』

（注） コスターグループ合計。

② 持続可能性に対する取り組み

コスターグループは持続可能な材料使用を推進しており、2024年のプラスチックのPCR材の使用量は118トンで、前年の49トンから増量させた。従来品のアクチュエーターを地中心にスプレーポンプやディスペンサーなどのPCRラインアップを提供している。また、厚みの最適化、不要な部品の除去などの研究開発に取り組み、包装材料を積極的に削減しつつも製品の完全性を維持している。

エアゾールおよびディスペンシング容器部品は、複数の部品が異なる素材で構成されることが、分別回収を難しくする一因である。再資源化を促進するには、「リサイクル可能設計」が特に求められる。コスターグループでは、従来品で課題となっていたPOM製の部品を排除した製品を導入し始めている。長年展開してきたディスペンサーポンプ「SCP」をベースに、リサイクル性を高めた改良モデル「SCPG (Soap Coster Pump Green)」がその例だ。ステムおよびボールをPOMからPPに変更し、ポンプ全体をボトルと同系（PET、PP、HDPE）の材料にすることで、従来の操作性や吐出性能は保ちながら、回収・選別工程に適合する設計を実現している。SCPGはCyclos-HTPによるリサイクル性評価も得ており、PCR材による製造も可能だ。他にも、キャップや噴射ボタンを工具なしで簡単に取り外せる設計のアクチュエーターEasy Off、ポンプヘッドをはずすだけで金属スプリングを簡単に分離できるディスペンサーポンプSpring-offなどの特許を持つ。

なお、コスターグループの欧州の全工場は、再生可能エネルギーを100%利用している。

③ 持続可能性に関連認証等の取得

EcoVadis「ゴールドメダル」取得

6. ディ・マウロ・オフィチーナ・グラフィケ (Di Mauro Officine Grafiche)

(1) 会社概要等

項目	企業プロフィール
会社名	ディ・マウロ・オフィチーナ・グラフィケ

英文会社名	Di Mauro Officine Grafiche S.p.A.
ウェブサイト	https://www.dimauroflexiblepackaging.it/
設立年	1895 年
本社所在地	Via Giovanni Cesaro, 1/A - 84013 Cava de' Tirreni (SA)
従業員数	281 名(2024 年)(注)
売上高	9,900 万ユーロ(2024 年)(注)
包装向け製品の用途	<input checked="" type="checkbox"/> 食品・飲料 <input checked="" type="checkbox"/> 医薬品・ヘルスケア 〃 産業 〃 ロジスティクス <input checked="" type="checkbox"/> ホームケア <input checked="" type="checkbox"/> パーソナルケア 〃 農業・畜産 〃 その他
主な事業内容	主にプラスチック、そして紙製の軟包装の設計・製造。売上の約 9 割は食品・飲料向けであるが、2023 年、買収により製薬向けのアルミプリストアおよびトレイ製造にも参入。

(出所) ディ・マウロ公式ウェブサイト (表内に記載) および『BILANCIO DI SOSTENIBILITÀ 2024』

(注) ディ・マウログループ合計。出所は『BILANCIO DI SOSTENIBILITÀ 2024』

(2) 持続可能性に対する取り組み

ディ・マウロは、市場のニーズに沿って、持続可能な包装の開発に向けた研究開発を強化している。重量・体積の削減、リサイクル可能な製品の開発、リサイクル材の使用、堆肥化可能な製品の開発、紙製品の開発がその基本方針になっている。特に自立するドイパックは、従来の硬質プラスチック容器に比べプラスチックの使用を約 7 割削減できることから特に注力し、2023 年には同製品に特化した工場を新設した。翌年からはリサイクル可能な単一素材のラミネートの設計・工業化を開始、さらに、パウチと同一の化学的性質を持つディスペンサーを製造する戦略的パートナーも特定し、製品の完全なリサイクル性の実装を推進している。

リサイクル可能な Recyflex は、独自のフィルム製品ラインで、PE、PP および PE・PP 混合素材から素材を選べる食品および家庭用品・パーソナルケア製品に適した包装材だ。PCR 材を使用した製品も提供している。このほか、PCR 材を利用した PCRflex では、PET で 70% または 90%、PE では 50%、PA では 100%の PCR 材を使用している。

同社は PLA、バイオ PET、セルロースフィルムを組み合わせた堆肥化可能なラミネート Compoflex、軟包装向けの紙製品で紙としてリサイクル可能な IN-CARTA なども提供している。

(3) 持続可能性に関連する認証等の取得

BRC-GS 包装および包装材料 規格認証取得

ISCC Plus 認証取得

FSC 認証取得

7. フロ (Flo)

(1) 会社概要等

項目	企業プロフィール
会社名	フロ
英文会社名	Flo S.p.A.
ウェブサイト	https://www.flogroup.eu/
設立年	1973 年
本社所在地	Strada Ghiara Sabbioni, 33/A - 43012 Fontanellato (PR)
従業員数	約 745 名(注)
売上高	約 2 億 2,000 万ユーロ(注)
包装向け製品の用途	<input checked="" type="checkbox"/> 食品・飲料 <input type="checkbox"/> 医薬品・ヘルスケア <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> ロジスティクス <input type="checkbox"/> ホームケア <input type="checkbox"/> パーソナルケア <input type="checkbox"/> 農業・畜産 <input type="checkbox"/> その他
主な事業内容	主にプラスチックおよび紙製の外食・リテール向け使い捨ての食器・テーブルウェアをはじめ、自動販売機用カップ、コーヒーカプセル、食品容器など幅広い製品の設計・製造を行う。イタリアのほか、フランス、英国に生産拠点を展開し、世界 45 カ国以上へ商品を提供する。

(出所) フロ公式ウェブサイト (表内に記載)

(注) フログループ合計、2026 年 2 月 13 日時点公式ウェブサイト掲載情報。

(2) 持続可能性に対する取り組み

フログループは欧州における環境規制の動向や規制の強化を見据え、2010 年以降、設備投資、ノウハウの獲得、人材育成など生産の多様化を進めている。特に、従来のプラスチック依存からの脱却を重要課題とし、堆肥可能なバイオプラスチックそして紙素材への転換には力を入れている。2024 年時点の使用原材料総重量におけるプラスチックの割合は 52%で、2020 年比で 23%減少しており、48%は紙素材を使用している。セルロース素材を使った使い捨て食器・カトラリーシリーズの Alpha では、Qwarzo コーティング⁹を採用することで高い機能性を備えながら、紙としてリサイクル可能かつ生分解・堆肥化可能な製品を実現している。

一方で、プラスチックの機能価値も認識しており、リサイクル性向上や PCR 材の活用にも取り組んでいる。例えば、同グループがサプライチェーン全体との協業により開発した R-Hybrid は、PCR の再生 PS を使用した世界初の自動販売機用カップだ。PS 単一素材の 3

9 イタリア企業クワルツォ (Qwarzo) が開発した、プラスチックや有機フッ素化合物 (PFAS) を含まないのシリカを主成分とするミネラルベースの革新的なコーティング技術。耐水・耐油性が高く、紙製品としてのリサイクルや堆肥化が可能。<https://www.qwarzo.com/>

層構造で、内層に再生材、外層にバージン原料を使用することで、製品の安全性と完全なりサイクル性を両立している。このほか、原料の一部を独自配合のミネラル塩に置き換えることで、バージン材の使用を減らしつつ、機能性を維持したヨーグルト専用の Hybrid Yogurt なども開発している。同製品は 100%リサイクル可能である。

また、コーヒーの互換カプセル分野では、コーヒーの品質を損なうことのないバリア性を実現しながら、堆肥化可能な GEA シリーズも取り揃えている。同製品は ISCC Plus 認証を取得している PLA 素材を使用している。

(3) 持続可能性に関連する認証等の取得

EcoVadis 「ブロンズメダル」取得¹⁰

BRC-GS 包装および包装材料 規格認証取得

PEFC 森林管理認証取得

PSV 認証取得製品あり¹¹

Aticelca 501 リサイクル適正 B/A/A+認証取得製品あり

OK Compost 認証取得製品あり

8. ジフロール (Giflor)

(1) 会社概要等

項目	企業プロフィール
会社名	ジフロール
英文会社名	Giflor S.r.l.
ウェブサイト	https://www.giflor.com/
設立年	1973 年
本社所在地	Via Palù, 9 - 36040 Grumolo delle Abbadesse (VI)
従業員数	50 名 (2026 年)
売上高	1,600 万ユーロ (2024 年)
包装向け製品の用途	<input checked="" type="checkbox"/> 食品・飲料 <input checked="" type="checkbox"/> 医薬品・ヘルスケア <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> ロジスティクス <input type="checkbox"/> ホームケア <input checked="" type="checkbox"/> パーソナルケア <input type="checkbox"/> 農業・畜産 <input type="checkbox"/> その他
主な事業内容	プラスチックキャップとディスペンスタップの開発・製造。独自の閉栓技術とデザイン性、豊富な色揃えを特徴とし、世界 50 カ国で採用されている。2023 年には ITAP ¹² を買収し、液体用タップ分野へも事業領域を拡大。

¹⁰ フロ本体のメダル。

¹¹ グループ企業のイタリア企業イサップ・パッキング (ISAP Packing S.p.A.) の製品。

¹² 液体食品 (オイル、飲料など) のバッグ・イン・ボックス包装向けのディスペンスタップメーカー。

(出所) ジフロール公式ウェブサイト (表内に記載)

従業員数および売上高はイタリア商工会議所データを参照した単体のもの。

(2) 持続可能性に対する取り組み

ジフロールは、生産プロセスから物流まで、あらゆる段階での環境負荷を抑えるために取り組んでいる。製品の素材に関しては、機能性とデザイン性を両立するために設計された4つのグリーン素材を採用している。

回収プラスチックを再加工した PCR 材に関しては、従来の製品への適用を進めている。同社が扱う PCR 材は REACH¹³規則に準拠し、多彩なカラーに対応可能であり、デザイン性を維持した製品の実現を可能にしている。従来品に比べ 50%軽量化したボトルおよびチューブ用の特許製品 Eco Low Profile (ELP) キャップにも PCR 材を採用し、環境負荷低減に二重に寄与している。

一方、リサイクル性向上のため、単一素材の HDPE を採用し、キャップをボトルと同一素材で製造することで分別を不要とし、回収・リサイクル工程の効率化に寄与している。また、特別な添加剤を用いたカーボンブラック・フリー樹脂を使用した黒色プラスチックでは、従来課題とされていた選別機での黒色プラスチックの検出が可能となり、黒色プラスチックの再生利用を可能にしている。

(3) 持続可能性に関連する認証等の取得

BRC-GS 包装および包装材料 規格認証取得

OK Compost 認証取得製品あり

9. グアラパック (Guala Pack)

(1) 会社概要等

項目	企業プロフィール
会社名	グアラパック
英文会社名	Guala Pack S.p.A.
ウェブサイト	https://gualapack.com/
設立年	1954 年
本社所在地	Via Carlo Mussa 226 - Castellazzo Bormida (AL)
従業員数	2,761 名 (2024 年)(注)
売上高	3 億 5,300 万ユーロ (2024 年)(注)

13 人の健康と環境保護などを目的に、欧州における化学物質の総合的な登録・評価・認可・制限を定めた制度。Registration, Evaluation, Authorisation and Restriction of Chemicals の略。

包装向け製品の用途	<input checked="" type="checkbox"/> 食品・飲料 <input checked="" type="checkbox"/> 医薬品・ヘルスケア “産業 “ロジスティクス <input checked="" type="checkbox"/> ホームケア <input checked="" type="checkbox"/> パーソナルケア “農業・畜産 “その他
主な事業内容	スタンドアップポーチを主力とし、ラミネート・チューブなどの軟包装およびキャップなどの射出成形、充填ラインの設計・製造までのトータルソリューションを提供。イタリア、欧州をはじめ北米、中南米、アジアに拠点を持つ。クライアントにはアボット、バクスター、ネスレ、ダノン、ユニリーバ、フェレロなど多くの大手グローバル企業が名を連ねる。

(出所) グアラパックス公式ウェブサイト (表内に記載) および『REPORT DI SOSTENIBILITÀ 2024』

(注) グアラパックスグループ合計、出所は『REPORT DI SOSTENIBILITÀ 2024』

(2) 持続可能性に対する取り組み

グアラパックスは、循環型経済への移行にあたり、素材の特性や規制などを踏まえた実現可能なアプローチを採用している。特に PE・PP などのポリオレフィン系素材では、食品接触用途に適したメカニカルリサイクルによる PCR 材供給については欧州規制に基づく厳格な認可が必要となるため、その適用は限定的である。よって、同社はケミカルリサイクル由来樹脂の活用を推進し、アレッサンドリア県の工場でサプライチェーン全体の管理体制を確立し、ISCC Puls 認証を取得している。そして、2022 年に原料メーカーとクライアントとの協働で 30%以上の PCR 材を含むスパウトパウチを実用化した。

従来の化石由来プラスチック製品への代替素材利用にも取り組んでいる。グループの特許製品で、片手で半分に折り曲げるだけで使用可能なカード型単回使用包装 Easysnap もその例だ。同製品の持続可能をグレードアップした Papersnap は、重量比で 80~85%が紙素材で、使用後は紙として分別・リサイクルが可能なように設計されている。

また、堆肥化可能な包装も循環型ソリューションのひとつとしており、LamiNEXT をはじめ堆肥化可能ラミネートを開発してきた。特に、使い捨てトレイのトップシールなど、従来では技術的に困難とされてきた用途にも対応し、接着剤を使用しない独自技術とともに、透明性・バリア性・シール性を維持している。

そのほか、化石資源削減の代替策として、バイオマス由来 PE を用いたパウチ、ラミネート、スパウトやキャップの開発も推進するなど、グアラパックスグループは規制適合性と実用性を両立させたサーキュラーエコノミー戦略を採用している。

(3) 持続可能性に関連する認証等の取得

BRC-GS 包装および包装材料 規格認証取得

ISCC Plus 認証取得

10. イリップ (ILIP)

(1) 会社概要等

項目	企業プロフィール
会社名	イリップ
英文会社名	ILIP S.r.l.
ウェブサイト	https://www.ilip.it/
設立年	1962 年
本社所在地	Via Castelfranco, 52 - 40053 Valsamoggia Loc. Bazzano (BO)
従業員数	241 名 (2026 年)
売上高	1 億 3,000 万ユーロ (2024 年)
包装向け製品の用途	<input checked="" type="checkbox"/> 食品・飲料 <input type="checkbox"/> 医薬品・ヘルスケア <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> ロジスティクス <input type="checkbox"/> ホームケア <input type="checkbox"/> パーソナルケア <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他
主な事業内容	イルパ(ILPA)グループに属する企業で、主に生鮮食品向け、飲食業向けの使い捨て容器などを、熱成形プラスチック(PS・PP・PET)およびバイオプラスチック由来の素材で開発・製造。

(出所) イリップ公式ウェブサイト (表内に記載) およびイリップ会社案内『Passion』for packaging』

従業員数および売上高はイタリア商工会議所データを参照した単体のもの。

(2) 持続可能性に対する取り組み

イリップは長年にわたり、自社製品の環境持続性と食品保存・食品ロス削減におけるパッケージの役割を考慮して研究に注力してきた。特に循環型経済に関しては、イルパグループ全体で推進しており、使用済み PET の選別から洗浄・粉砕、そして押出、熱成形による再生 PET 包装の製造までを一貫して管理。欧州でも独自のクローズドループ体制を確立している。グループ内でリサイクル可能品の回収から最終製品化までの垂直統合を完結させることで、素材の完全なトレーサビリティを確保している。そして、従来困難とされてきた使用済み食品トレイを再び食品トレイとして循環利用することを可能にしたのが T2T (Tray-to-Tray) R-PET クローズドループ製品だ。イリップはグループ内の包装コンバーターとして、欧州食品安全機関 (EFSA) の食品接触適合性を持つ、いわゆるフードグレードの再生 PET の製造認可を取得している。

このほか、バイオプラスチックなどの再生可能資源は、化石由来ポリマーに代わる実用性

のある選択肢として多くの製品が PLA およびマタビー (MATER-BI)¹⁴で製造されている。2002 年以降、同社の飲食業向けの使い捨て容器や食品包装などに使用されており、堆肥化可能かつ生分解性がある。また、包装の軽量化による原材料使用量の低減にも注力し、製品の用途適合性、包装工程の効率、消費者への安全性、食品保存期間を損なうことのない製品を開発・提供している。

同社は、社内での研究開発専門プロジェクトに加え、イタリア国内の主要大学との共同研究プログラムを通じて、製品機能と持続可能性のさらなる向上に取り組んでいる。

(3) 持続可能性に関連する認証等の取得

BRC-GS 包装および包装材料 規格認証取得
PSV 認証取得製品あり

11. インドゥストゥリア・テルモプラスティカ・パヴェーゼ (Industria Termoplastica Pavese)

(1) 会社概要等

項目	企業プロフィール
会社名	インドゥストゥリア・テルモプラスティカ・パヴェーゼ
英文会社名	Industria Termoplastica Pavese S.p.A. (略称 ITP)
ウェブサイト	https://www.itp.company/
設立年	1972 年
本社所在地	Via Cavallante 13 - 27040 Bosnasco (PV)
従業員数	207 名 (2026 年)
売上高	1 億ユーロ (2024 年)
包装向け製品の用途	<input checked="" type="checkbox"/> 食品・飲料 <input type="checkbox"/> 医薬品・ヘルスケア <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> ロジスティクス <input checked="" type="checkbox"/> ホームケア <input checked="" type="checkbox"/> パーソナルケア <input type="checkbox"/> 農業・畜産 <input checked="" type="checkbox"/> その他
主な事業内容	食品・産業向けの軟包装分野において、剥離性、シール性、バリア性、再封性、耐 UV など多様な機能を備えたオレフィン系フィルムの開発・生産・加工に携わる家族経営企業。売上の 40% 以上は欧州、米国などへの輸出が占める。

(出所) ITP 社公式ウェブサイト (表内に記載) および『BILANCIO DI SOSTENIBILITÀ 2024』を参照。

従業員数および売上高はイタリア商工会議所データを参照。

(2) 持続可能性に対する取り組み

ITP は、透明性と持続可能性を重視した研究開発方針を掲げており、環境配慮と機能性

¹⁴ Novamont 社の生分解性プラスチック。海洋でも土壌環境においても、完全に分解されることが検証されており、OK Compost 認証取得製品。

を両立する製品ラインを体系化するため、独自のブランド「パック・レボリューション (Pack Revolution)」を展開している。従来のフィルムが備える食の安全を確保する高機能性を維持しつつ、超薄膜による原材料の削減、軽量化、単一素材化によるリサイクル性の向上、PCR 材の活用拡大などのソリューションを提供している。

Recy シリーズは PE 単一素材の製品ラインで、そのリサイクル性は Cyclos-HTP によって証明されている。フロー包装向けの RecySealflex と RecyBariflex は PET・PE および BOPP・PE の複合ラミネート構造の代替として開発された。双方とも湿気に対するバリア性を備え、後者は酸素や香りも含む対ガスへの高いバリア性を備えている。また、食品・飲料業界のマルチパック向けのシュリンクフィルム RecyTermoPCR は完全リサイクル可能であるとともに、50%以上の PCR 材を使用し、PSV 認証も得ている。そして、冷凍食品向け軟包装に画期的なイージーオープンソリューションをもたらし、イタリアの「ベストパッケージ」¹⁵と WOP「ワールドスター賞」¹⁶を受賞した FreezyPeel もリサイクル可能な PE 単一素材の製品だ。

堆肥可能軟包装向けのフィルム Combioflex では、植物由来のバイオプラスチックも提供している。

(3) 持続可能性に関連する認証等の取得

EcoVadis 「ブロンズメダル」取得

BRC-GS 包装および包装材料 規格認証取得

ISCC Plus 認証取得

PSV 認証取得製品あり

OK Compost 認証取得製品あり

12. イシ・プラスト (ISI Plast)

(1) 会社概要等

項目	企業プロフィール
会社名	イシ・プラスト
英文会社名	ISI Plast S.p.A.
ウェブサイト	https://www.isiplast.com/
設立年	1958 年
本社所在地	Via Modena, 46 - 42015 Correggio (RE)
従業員数	103 名 (2024 年)

¹⁵ イタリア包装協会 (Istituto Italiano Imballaggio) が毎年開催するイタリアの包装コンテスト。

¹⁶ 世界包装機構 (World Packaging Organisation、略称 WPO) が毎年開催する世界包装コンテスト。

売上高	6,100 万ユーロ(2024 年)
包装向け製品の用途	<input checked="" type="checkbox"/> 食品・飲料 <input checked="" type="checkbox"/> 医薬品・ヘルスケア <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> ロジスティクス <input type="checkbox"/> ホームケア <input type="checkbox"/> パーソナルケア <input type="checkbox"/> 農業・畜産 <input checked="" type="checkbox"/> その他
主な事業内容	化学製品などの産業向けに、主に PP 製のプラスチック容器・バケツを製造。対象分野に応じて化学製品などの産業全般、食品、有害廃棄物、害虫捕獲用、携帯灰皿の 5 つの部門に分かれており、危険物輸送用の国連認定を取得している製品もある。製品は欧州 17 カ国に輸出されている。

(出所) イシ・プラスト公式ウェブサイト (表内に記載) および『2 “BILANCIO DI SOSTENIBILITÀ” (2024 年版)

(2) 持続可能性に対する取り組み

イシ・プラストは、技術革新と環境持続可能性のシナジーを生むため、大学や研究機関・業界企業との連携を継続的に推進してきた。その結果、高品質な包装材に不可欠とされる物理的・機械的特性を維持しつつ、持続可能な包装ソリューションの提供が可能となっている。同社のサプライヤーが開発した原材料により、加工工程におけるエネルギー消費の削減や、100%リサイクル可能な包装材の製造が可能となっている。廃棄物は、すべて粉砕および再造粒工程を経て製造に活用される。同社の再生材を利用した製品ラインは複数あり、製品に応じて再生材の使用割合が 38%、57%、94%となっており、PSV 認証も受けている。

また、同社は射出成形工程中にラベルを容器本体に完全に融合させる IML (インモールドラベリング) のカスタマイズ加工も提供している。これは、製品の見た目の向上に加え、ラベルを容器と同一素材にすることにより、容器全体を単一素材としてリサイクル可能にするソリューションである。

(3) 持続可能性に関連する認証等の取得

PSV 認証取得製品あり

13. メタルキミカ (Metalchimica)

(1) 会社概要等

項目	企業プロフィール
会社名	メタルキミカ
英文会社名	Metalchimica S.p.A.
ウェブサイト	https://www.metalchicagroup.it/
設立年	1982 年
本社所在地	Via degli Elettrecisti 15 - 64025 Scerne di Pineto (TE)
従業員数	249 名(2026 年)
売上高	5,400 万ユーロ(2024 年)

包装向け製品の用途	<input checked="" type="checkbox"/> 食品・飲料	<input checked="" type="checkbox"/> 医薬品・ヘルスケア	<input checked="" type="checkbox"/> 産業	<input type="checkbox"/> ロジスティクス
	<input checked="" type="checkbox"/> ホームケア	<input checked="" type="checkbox"/> パーソナルケア	<input checked="" type="checkbox"/> 農業・畜産	<input checked="" type="checkbox"/> その他
主な事業内容	100%再生プラスチックを使用した容器の設計・製造をてがけ、ボトル、チューブ、ジャー容器などをはじめ、産業用のタンクなども扱う企業。			

(出所) メタルキミカ公式ウェブサイト (表内に記載)
従業員数および売上高はイタリア商工会議所データを参照。

(2) 持続可能性に対する取り組み

当初は化学および農薬向け容器のサプライヤーとして知られていたメタルキミカは、現在は消費者向けの化粧品、パーソナルケア、医薬品、食品などに加え、産業や軍向けなどの各種容器の設計と製造に携わっている。化学溶剤などの攻撃性のある液体や製品の安全な保管、輸送を可能にする二重バリアボトルの国際特許 (1993 年) をはじめ、特許技術を有し、技術開発にも注力する企業だ。

同社は独自技術による 100%再生プラスチックを使用した包装材を開発した。従来のプラスチックの利便性と汎用性をすべて備える一方で、物理的な残留物や有害なくずなどの発生などがない。これらの包装材は、堆肥化処理の過程において水と二酸化炭素 (CO2) に分解され、残留汚染物質がないのが特徴である。

環境負荷低減に向けた取り組みは、工場へのソーラーパネル設置やコージェネレーションシステムの導入への投資などからも見られ、現在ではエネルギー需要の 80% を再生可能エネルギーでまかなっている。

(3) 持続可能性に関連する認証等の取得

PSV 認証取得製品あり

14. ポリーケグ (Polykeg)

(1) 会社概要等

項目	企業プロフィール
会社名	ポリケグ
英文会社名	Polykeg S.r.l.
ウェブサイト	https://www.polykeg.com/
設立年	2011 年
本社所在地	Via Leonardo Da Vinci, 5/9 - 24064 Grumello del Monte (BG)
従業員数	58 名 (2026 年)
売上高	2,600 万ユーロ (2024 年)
包装向け製品の用途	<input checked="" type="checkbox"/> 食品・飲料 <input type="checkbox"/> 医薬品・ヘルスケア <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> ロジスティクス <input type="checkbox"/> ホームケア <input type="checkbox"/> パーソナルケア <input type="checkbox"/> 農業・畜産 <input type="checkbox"/> その他

主な事業内容	PET 製のケグ17の開発・製造。スペインおよび英国に拠点を置く。
--------	-----------------------------------

(出所) ポリーケグ公式ウェブサイト (表内に記載) および『BILANCIO DI SOSTENIBILITÀ ANNO 2024』。従業員数および売上高はイタリア商工会議所データを参照。

(2) 持続可能性に対する取り組み

PolyKeg は、リサイクル可能な PET を用いた、飲料業界向けのケグである。継続的な研究開発により進化を重ね、2024 年には PolyKeg PRO 2.0 が市場投入された。持続可能性の高い設計に重点を置きつつ、従来モデルの高い耐性や安全性を確保し、既存の充填システムやサーバーなどとの互換性を維持しながら、全てのパーツを分解可能な構造に進化させた点が特徴である。加えて、可能な限り単一素材化することで廃棄時の分別を容易にし、リサイクル性を高めると共に、サプライチェーン内での部品再利用の可能性も高めている。また、樽部分には最大 42%のリサイクル材を使用しており、PSV の認証も取得している。

PolyKeg PRO 2.0 は、パレット、トラック、コンテナの積載量に応じて最適化可能な設計に加え、生産拠点の分散化が可能なモジュール式生産プロセスを採用しており、ロジスティクス全般のコストおよび CO2 排出量削減に寄与するなど、製品のライフサイクル全体で環境への配慮がなされている。

(3) 持続可能性に関連する認証等の取得

BRC-GS 包装および包装材料規格認証取得

PSV 認証取得製品あり

15. ポップラスト (Poplast)

(1) 会社概要等

項目	企業プロフィール
会社名	ポップラスト
英文会社名	Poplast S.r.l.
ウェブサイト	https://www.poplast.it/
設立年	1975 年
本社所在地	Industrial Area Loc. Cà dei Tre Di - 29015 Castel San Giovanni (PC)
従業員数	241 名 (2024 年)(注)
売上高	1 億 600 万ユーロ (2024 年)(注)
	<input checked="" type="checkbox"/> 食品・飲料 <input checked="" type="checkbox"/> 医薬品・ヘルスケア <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> ロジスティクス

17 飲料向けの貯蔵・輸送・サーバーとして使われる円筒型容器、樽。アルミニウム、鉄製が多い。

包装向け製品の用途	<input type="checkbox"/> ホームケア <input checked="" type="checkbox"/> パーソナルケア <input type="checkbox"/> 農業・畜産 <input type="checkbox"/> その他
主な事業内容	中～高バリア性の軟包装二次加工（プリプレス、印刷、ラミネート、スリット、ロール仕上げなど）・研究開発。主に食品業界（生パスタ、ベーカリー製品、菓子、米、肉・ハム、ドライフルーツ、スナック、コーヒー、乳製品などの商品向け）を中心に、顧客向けにカスタマイズされたソリューションを提供。

（出所） ポップラスト社『SUSTAINABILITY REPORT 2024』

（注） ポップラストグループ合計。

（2） 持続可能性に対する取り組み

ポップラストグループは、製品使用後のリサイクル施設での機械的処理を促進するため、単一素材（モノマテリアル）を一層または複数層で構成したエコデザイン、いわゆる「レディ・トゥ・リサイクル（Ready to Recycle）」の研究開発に注力している。これは、アルミなどの他素材含む多層構造の従来のプラスチック包装のメカニカルリサイクルが困難であるという課題に対応するものだ。2024年の同グループのレディ・トゥ・リサイクルに対応した製品の割合は全体の約80%、食品業界向けの主力の製品に関しては95%に達し、生パスタ、ドライフルーツ、コーヒー、乳製品など用途に採用されている。素材別では約8割の製品がPP製で、PE製を合わせると全体の95%を占める。同社はCyclos-HTPと協力し、5年間で10種の新しい「単一素材」製品を開発、リサイクル適性に優れた製品として認証を得ている。包装する製品の保存に不可欠な高いバリア性を維持しつつ、より低いシール温度で処理を可能とし、エネルギー消費の削減にも寄与している。

ティッシュ向けの包装では、PSV認証を取得したサプライヤーが提供するPCR材のPEを採用しており、最大60%の再生材を含む製品もある。

また、バイオベースの軟包装の開発にも取り組んでいる。同グループのバイオフィルムは、セルロースやサトウキビ残渣などの原料を85%以上使用し、再生可能エネルギー源を使用して製造されている。産業廃棄物リサイクル処理施設で100%生物分解が可能で、一定期間内に残留物を残すことなく分解される特性を持つ。

（3） 持続可能性に関連する認証等の取得

BRC-GS 包装および包装材料 規格認証取得

ISCC Plus 認証取得

FSC 認証取得

Cyclos-HTP リサイクル適正認証取得製品あり

16. プントパック（Punto Pack）

(1) 会社概要等

項目	企業プロフィール
会社名	プントパック
英文会社名	Punto Pack S.p.A. Società Benefit ¹⁸
ウェブサイト	https://www.puntopack.it/
設立年	2001年
本社所在地	Via F. Borromini, 42 - 50028 Barberino Tavarnelle (FI)
従業員数	55名(2026年)
売上高	4,300万ユーロ(2024年)
包装向け製品の用途	<input checked="" type="checkbox"/> 食品・飲料 <input checked="" type="checkbox"/> 医薬品・ヘルスケア <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> ロジスティクス <input type="checkbox"/> ホームケア <input checked="" type="checkbox"/> パーソナルケア <input type="checkbox"/> 農業・畜産 <input type="checkbox"/> その他
主な事業内容	プラスチック・ガラスのボトル容器各種、スポイトキャップ(プラスチック製吸管)の製造と各種付属品(スポイト、スプーン、ディスペンサーなど)のPPフローパックサービスも提供。

(出所) プントパック公式ウェブサイト(表内に記載)

従業員数および売上高はイタリア商工会議所データを参照した単体のもの。

(2) 持続可能性に対する取り組み

プントパックは一次包装に関する包括的なサービスを提供する企業だ。主に医薬品業界向けに事業を展開し、近年、2つの企業の買収により事業領域の拡大を推進している。中でも、化粧品、ヘルスケア、食品向けのボトル、ジャー容器、キャップ、内蓋の設計、製造に携わるグループ企業のマヴ(MAV¹⁹)は米化粧品のレブロンなども顧客とする歴史のある企業だ。

同社のボトル容器は50%~100%の再生PETで製造が可能だ。2024年時点で再生PETを使用した商品の年間生産は全体の6%を超え、購入した原材料全体にしめるリサイクル材の割合も全体の約2割となっている。いずれも前年比50%以上の増加を記録している。

マヴの環境に配慮した製品ラインREPLASTICでは100%リサイクル素材、100%リサイクル可能な製品を提供している。再生されたPP、HDPE、PETの3種類の樹脂によるボトルやジャー容器は、優れた透明性を持ち、不純物も少ない。バージン材由来の樹脂と同じ技術的特性を保ち、同社が対象とするすべての分野のニーズへの対応が可能だ。再生材にはPCRとPIRが使用され、使用後は一般の廃棄物として回収・リサイクルが可能だ。

さらに、サトウキビを原料としたプラスチックを使用する製品ラインBIO-BASEDでは

18 ベネフィット・コーポレーション。イタリアでは、2016年より施行された法律で枠組みが定められ、利益に加え社会・環境への公益目的を追求し、責任・持続可能性・透明性を重視する企業形態。

19 Mav S.r.l.公式ウェブサイトは<https://www.mav-italy.com/>

LDPE、HDPE、PP および PET の樹脂への対応が可能で、使用後は 100%リサイクルができる。植物由来の再生可能資源を使うことで、CO2 削減にも寄与する。

(3) 持続可能性に関連する認証等の取得

EcoVadis 「ゴールドメダル」取得

B-Corp 認証取得

ISCC Plus 認証取得

PSV 認証取得製品あり

17. ロトリフィーチョ・ベルガマスコ (Rotolificio Bergamasco)

(1) 会社概要等

項目	企業プロフィール
会社名	ロトリフィーチョ・ベルガマスコ
英文会社名	Rotolificio Bergamasco S.r.l. (略称 RB)
ウェブサイト	https://www.errebi-srl.it/
設立年	1976 年
本社所在地	Via G. Pascoli, 7/9 - 24020 Gorle (BG)
従業員数	101 名 (2026 年)
売上高	3,900 万ユーロ (2024 年)
包装向け製品の用途 ^(注)	<input checked="" type="checkbox"/> 食品・飲料 <input type="checkbox"/> 医薬品・ヘルスケア <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> ロジスティクス <input checked="" type="checkbox"/> ホームケア <input checked="" type="checkbox"/> パーソナルケア <input type="checkbox"/> 農業・畜産 <input checked="" type="checkbox"/> その他
主な事業内容	様々な用途のニーズに対応したロール紙製造に特化した技術力と専門性を持ち、感熱紙・ライナーレスラベル・軟包装などの分野へ製品を提供する。欧州をはじめ世界各地への輸出が売上の 35%を占める。

(出所) ロトリフィーチョ・ベルガマスコ公式ウェブサイト (表内に記載)

従業員数および売上高はイタリア商工会議所データを参照。

(注) 同社の包装向けの製品の用途に限る。

(2) 持続可能性に対する取り組み

ロール紙に特化した RB は、長年にわたり環境には特に注意を払っており、事業所の電力は再生可能エネルギーを使用している。このような企業姿勢から生まれたのが 100%セルローズ素材のカルタミ (Cartami) だ。軟包装向けの熱シール加工に対応し、プラスチックコーティングは一切施されていないという。一方で、特殊加工により機密性・バリア性・撥水性を持ち、製品の品質・鮮度を保ちつつ安全な包装ができる。食品の二次包装に対応したグレードをもつことから、パーソナルケアをはじめ、電子・機械部品、金物、衣類、そして一般的な消耗品全ての幅広い製品のフローパックへの利用が可能だ。使用後は紙として 100%

リサイクルが可能な Aticelca A+グレードも取得しており、従来のプラスチック包装と同等の機能もつことから、環境負荷低減に寄与する代替ソリューションとして採用されている。

(3) 持続可能性に関連する認証等の取得

FSC 認証取得

PEFC 森林管理認証取得

Aticelca 501 リサイクル適正 A/A+認証取得製品あり

18. サッキタル (Sacchital)

(1) 会社概要等

項目	企業プロフィール
会社名	サッキタル
英文会社名	Sacchital S.p.A.
ウェブサイト	https://sacchital.it/
設立年	1945 年
本社所在地	Via Castellazzo 7 - 20006 Pregnana Milanese (MI)
従業員数	約 400 名 (注)
売上高	約 1 億 4,000 万ユーロ(注)
包装向け製品の用途	<input checked="" type="checkbox"/> 食品・飲料 <input checked="" type="checkbox"/> 医薬品・ヘルスケア 〃 産業 〃 ロジスティクス <input checked="" type="checkbox"/> ホームケア <input checked="" type="checkbox"/> パーソナルケア 〃 農業・畜産 <input checked="" type="checkbox"/> その他
主な事業内容	紙袋製造で創業し、現在はプラスチック・アルミ・紙を用いた軟包装と産業向けの押出成形の半製品を開発・製造する。グループは国内に 5 カ所の製造拠点を持つ。

(出所) サッキタル公式ウェブサイト (表内に記載)

(注) サッキタルグループ合計、2026 年 2 月 13 日時点公式ウェブサイト掲載情報。

(2) 持続可能性に対する取り組み

サッキタルは、ベーカリー製品、コーヒー、チョコレートそして野菜・果物などの食品を主に、化粧品や医薬部外品分野向けへの軟包装を手がけている。市場のニーズに応えるべく、技術・品質・環境配慮を統合した包装ソリューションの開発を進めている。欧州初となるフードグレードの水溶性インクを使った高バリア紙へのデジタル印刷機の導入もその例だ。持続可能性への対応に関しては、紙、バイオプラスチック、堆肥化可能素材などを用いた製品の開発に注力している。

同社の包装は紙が主となっている。グループの工場はすべて FSC 認証を取得している。同社の Paperflex System は、フローパック向けのリサイクル可能な紙包装ソリューション

である。非常に高い酸素バリア性と 95%以上の高い紙含有率を特徴とし、プラスチックの軟包装の代替としてラインを拡充している。堆肥化可能な軟包装 Compoflex System は、紙とバイオポリマー、またはバイオポリマー複合材を素材とし、使用後は有機廃棄物として処理できる。OK Compost 認証も得ている。

プラスチック製品として、単一素材による Monoflex System を用意しており、使用後の分別性・リサイクル性向上に取り組んでいる。

(3) 持続可能性に関連する認証等の取得

BRC-GS 包装および包装材料規格認証取得

FSC 認証取得

OK Compost 取得製品あり

19. セレーネ (Selene)

(1) 会社概要等

項目	企業プロフィール
会社名	セレーネ
英文会社名	Selene S.p.A.
ウェブサイト	https://www.selene-spa.com/
設立年	1959 年
本社所在地	Via di Vicopelago 257 - 55100 Lucca (LU)
従業員数	171 名 (2026 年)
売上高	7,900 万ユーロ (2024 年)
包装向け製品の用途	<input checked="" type="checkbox"/> 食品・飲料 <input checked="" type="checkbox"/> 医薬品・ヘルスケア <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> ロジスティクス <input type="checkbox"/> ホームケア <input type="checkbox"/> パーソナルケア <input checked="" type="checkbox"/> 農業・畜産 <input checked="" type="checkbox"/> その他
主な事業内容	工業向けに特化した PE および PP 製の軟包装材の開発・製造。製袋充填機向けの包装フィルム、パレット用のストレッチフードフィルムを提供。米国にも拠点をもち、製品の約半分は海外の顧客向けである。

(出所) セレーネ公式ウェブサイト (表内に記載) および『BILANCIO DI SOSTENIBILITÀ 2024』

従業員数および売上高はイタリア商工会議所データを参照。

(2) 持続可能性に対する取り組み

セレーネの製品は、工業向けの化学、石油化学、建設、食品、農業、物流、自動車、衛生などの幅広い分野を対象としている。B2B の特性を生かした包括的な産業向けに持続可能性にかかる施策を展開し、同社のサンタ・マルガリータ工場では、自社で生じる製造廃棄物に加え、顧客や回収センターから収集された包装材を洗浄・リサイクルする独自のプロセス

を経て、品質管理された二次原料「プレミアム・リサイクルド・ポリマー (Premium Recycled Polymer、以下 PRP)」を再生している。

フォームフィルシール (FFS) 向けのフィルムおよびプレメイドバッグなどの製品ラインには、バージン原料に最大 50%に PRP を配合した NextBag を展開しており、従来品と同等の品質・機能を維持しつつ、持続可能性を高めている。また、パレットを完全に包み込み、輸送・ハンドリングの際の保護・保持する伸縮性のあるストレッチフードとして、NextHood を提供しており、PRP の使用率は最大 30%となっている。

(3) 持続可能性に関連する認証等の取得

EcoVadis 「シルバーメダル」取得

PSV 認証取得製品あり

20. セリオプラスト・グローバルサービス (Serioplast Global Services)

(1) 会社概要等

項目	企業プロフィール
会社名	セリオプラスト・グローバルサービス
英文会社名	Serioplast Global Services S.p.A.
ウェブサイト	https://www.serioplast.com/
設立年	1974 年
本社所在地	Via Comonte 15 - 24068 Seriate (BG)
従業員数	約 2,050 名(注)
売上高	約 4 億ユーロ(注)
包装向け製品の用途	<input checked="" type="checkbox"/> 食品・飲料 <input checked="" type="checkbox"/> 医薬品・ヘルスケア “産業 “ロジスティクス <input checked="" type="checkbox"/> ホームケア <input checked="" type="checkbox"/> パーソナルケア “農業・畜産 <input checked="" type="checkbox"/> その他
主な事業内容	コンシューマー向けの硬質プラスチック(HDPE、PET、PP、PETG など)容器、ボトル、キャップなどの包装製造。設計・製造・金型・リサイクルを内製化した垂直統合モデルを有し、世界 16 カ国、33 カ所に拠点を展開。クライアントにはネスレ、ダノン、ロレアル、P&G、ユニリーバ、ヘンケルなど多くの大手グローバル企業が名を連ねる。

(出所) セリオプラストグループ公式ウェブサイト (表内に記載)

(注) セリオプラストグループ合計、2026 年 2 月 13 日時点公式ウェブサイト掲載情報。

(2) 持続可能性に対する取り組み

セリオプラストグループは、持続可能な原材料と循環型経済への移行、温室効果ガス (GHG) 排出量削減に積極的に取り組んでいる。「ボトル to ボトル」の水平リサイクルの

原則に基づき、原材料は化石資源由来のバージン原料と PCR 材由来の原料のみで構成され、同グループの製品にはバイオベースの原料は使われていない。再生材の活用は、10 年以上も前から継続されている同グループの重要な取り組みである。2019 年から 2024 年にかけて、グループの PCR 材の使用率は 8.2%から 35%まで継続的に増加している。また、市場に供給される製品の 99.8%がリサイクル可能で、再資源化を前提とした製品設計が徹底されている。

同グループは戦略的プロジェクトとして「セリオープ (Seriooop)」を立ち上げ、回収・選別から再生、トレーサビリティに至るまで、プラスチック循環の全工程をパートナーと連携して構築することを目指している。PCR 材を高品質な二次原料へ転換し、再現可能な循環型生産モデルを確立することで、業界およびプラスチックの使用にポジティブで持続的な影響をもたらすイノベーションを推進している。その中核を担うグループ会社チェントロ・プラステカ (Centro Plastica) には継続的な投資を行ってきた。同社は PCR 材を原料とした再生 HDPE ペレットの製造を専門とし、リサイクル施設は RecyClass の認証も得ている。メカニカルリサイクルを通じた原料選定から製品納品までの品質を一貫して管理している。これにより、設計段階でのリサイクル性確保、PCR 材使用率向上を可能にし、脱バージン原料、GHG 排出削減、ならびに規制適合を実現する基盤を構築している。セリオープグループは 2030 年に向け、全製品において PCR 材含有率 50%を達成するという野心的な目標を掲げている。

(3) 持続可能性に関連する認証等の取得

BRC-GS 包装および包装材料規格認証取得

RecyClass 認証取得リサイクル施設あり

PSV 認証取得製品あり

21. ティチノプラスト (Ticinoplast)

(1) 会社概要等

項目	企業プロフィール
会社名	ティチノプラスト
英文会社名	Ticinoplast S.p.A.
ウェブサイト	https://ticinoplast.com/
設立年	1967 年
本社所在地	Via Cesare Battisti 64 - 20005 Pogliano Milanese (MI)
従業員数	75 名 (2026 年)
売上高	3,600 万ユーロ (2024 年)
包装向け製品の用途	<input checked="" type="checkbox"/> 食品・飲料 <input checked="" type="checkbox"/> 医薬品・ヘルスケア <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> ロジスティクス <input checked="" type="checkbox"/> ホームケア <input checked="" type="checkbox"/> パーソナルケア <input type="checkbox"/> 農業・畜産 <input checked="" type="checkbox"/> その他

主な事業内容	主に食品業界向けの軟包装用の単層および多層フィルムの開発・製造。 2020年時点で9つの生産設備を持つ。
--------	---

(出所) ティチノプラスト公式ウェブサイト (表内に記載)。
従業員数および売上高はイタリア商工会議所データを参照。

(2) 持続可能性に対する取り組み

ティチノプラストの持続可能な製品の開発は、3R の考え方に基づいている。軟包装の再利用は難しいため、フィルムの厚みや密度を減らすことでプラスチックの使用量を削減し、単一素材化によるリサイクル性の向上を推進している。同社がブルガリアの軟包装メーカー・プラスチム T (Plastchim-T) との協業により開発した PEoneer BOPE²⁰は、従来の PET、PE などの複数素材の包装の機能を PE の単一素材で実現した、100%リサイクル可能な製品だ。優れた機械的特性、透明性、印刷適性を備え、食品にも対応可能である。

同じく再生可能資源を利用する NextfilmTMは、堆肥化可能、PCR 材利用、バイオ由来資材の利用など環境に配慮した素材を用いたフィルム製品だ。中でも、堆肥化に対応したフィルムは、生分解性プラスチックを手掛ける伊ノバモント (Novamont) の「マタビー」を用い、国際規格 EN13432²¹にも適合している。PCR 材に関しては、ケミカルリサイクルを用いて食品接触も可能な原料を採用している。

(3) 持続可能性に関連する認証等の取得

EcoVadis 「シルバーメダル」取得

BRC-GS 包装および包装材料規格認証取得

ISCC Plus 認証取得

22. ヴァルマティック (Valmatic)

(1) 会社概要等

項目	企業プロフィール
会社名	ヴァルマティック
英文会社名	Valmatic S.r.l.
ウェブサイト	https://www.valmaticsr.com/
設立年	1980年
本社所在地	Via Turati, 5 - 41030 San Prospero (MO)
従業員数	54名(2026年)

20 PEoneer® BOPE 専用サイト <https://bopefilms.com/>

21 欧州規格「堆肥化と生分解によって回収可能な包装の要件 (Packaging - Requirements for packaging recoverable through composting and biodegradation)」。

売上高	920 万ユーロ(2024 年)
包装向け製品の用途	<input checked="" type="checkbox"/> 食品・飲料 <input checked="" type="checkbox"/> 医薬品・ヘルスケア 産業 ロジスティクス <input type="checkbox"/> ホームケア <input checked="" type="checkbox"/> パーソナルケア 農業・畜産 <input checked="" type="checkbox"/> その他
主な事業内容	座薬などの単回投与向けの熱成形機械メーカーとして創設され、事業多角化により、現在は熱成型および FFS 機械製造、単回投与容器生産のほか、受託包装事業も展開する企業。ブラジル、メキシコ、日本における商業・生産合弁や 50 カ国以上への輸出などで海外へ事業を展開する。

(出所) ヴァルマティック公式ウェブサイト (表内に記載)

従業員数および売上高はイタリア商工会議所データを参照。

(2) 持続可能性に対する取り組み

ヴァルマティックは、使い捨て包装のインフラ・資材・包装工程に至るまで、サプライチェーン全体に特化して培ったノウハウを生かし、PAPERDOSE Multicolor を開発した。従来プラスチックが主流とされてきた使い捨て容器を、紙ベースで代替する製品、使用後は紙として分別・リサイクルが可能である。3D 成形により、デザイン性を維持しながら環境への配慮を実現している。FSC 認証紙を使用している。内容量は 1~50ml に対応可能、化粧品や食品のほか化学製品など幅広い製品に対応が可能である。

また、熱成型プラスチック包装の使い捨て容器やバイアルでは、原料となるプラスチックの 8 割に PET ボトルからの再生材を使用し、製品自体もリサイクル可能だ。製品の設計から製造を手掛け、形状、色、外観、容量も業界に合わせて調整できる。内容量は 0.5~200ml となっている。使用するインクや接着剤には、衛生・安全性を確保するため、関連する国際基準に準拠した材料を使用している。

レポートをご覧いただいた後、アンケート（所要時間：約1分）にご協力ください。

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/ora2/20250058>



本レポートに関するお問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
調査部欧州課
〒107-6006 東京都港区赤坂 1-12-32
TEL：03-3582-5569
E-mail：ORD@jetro.go.jp